

このたびは NAGASAWA 製品をご採用いただき、誠にありがとうございます。
製品を正しく施工していただくために、本説明書の内容をご確認ください。
取替前の製品によっては、扉に付いた日焼け跡を隠せない場合があります。
製品の特性上、ご理解をお願いします。



締め付け時は、必ず手動ドライバーをご使用ください。
電動ドライバーは使用しないでください。
ねじ穴の破損および本体などを傷めるおそれがあります。
取付ねじ等は、しっかりと固定し飛び出しのないように取り付けて下さい。

梱包内容一覧 表を参照し、部品の有無をご確認ください。

<p>① 本体 (表) 1 台</p>	<p>② 本体 (裏) 1 台</p>	<p>③ キー set (どちらか) 1set</p>	<p>④ K 錠対応 CTS-60 錠 set 1 個</p>	<p>⑤ K 錠対応 CTS 錠用受座 ⑥ K 錠対応 CTS 錠用トロ箱 各 1 個</p>	<p>⑦ 丸皿小ねじ M5×40 各仕上色 ⑧ 本体固定ねじ 4 本</p>	<p>⑨ 皿コンビねじ M4×25 SUS 生地 ⑩ 錠受座固定ねじ 4 本</p>
-------------------------	-------------------------	---------------------------------	-------------------------------------	---	--	--

1 対象製品の確認と追加穴加工

- ※ 4 の作動確認Ⅲまで、③キー set は、シリンダーに差し込まないでください。
- ※ 4 の作動確認が終わるまで、扉は閉めないでください。(クサビ等で固定するとよい)
- ※ ツーロックからの取り替えでは、本体と本締錠が干渉する場合があります。ロワール ツーロック取り替え時は、錠フロント板との間隔が 37 mm 以上あることを確認してください。(裏面切欠図参照)
- I: 現行の金物を取り外す前に、対象製品かを確認します。(扉小口面の金物サイズ: 25 mm × 131 mm, KODAI 刻印あり)
- II: 現行の金物を取り外し、切欠きの確認をします。追加加工は、裏面『切欠図』を参考に、扉に加工します。

2 K錠対応 CTS-60 錠 set の取付

- I: ④K 錠対応 CTS-60 錠 set を扉にセットし、⑩錠受座固定ねじ 2 本で取り付けます。
- ※ 左吊元の場合は、フロント板固定ねじをはずし、ラッチボルトを廻してあわせてください。再度フロント板と取付金具を固定します。
- II: ⑤K 錠対応 CTS 錠用受座と ⑥K 錠対応 CTS 錠用トロ箱をセットし、⑩錠受座固定ねじ 2 本で取り付けます。

3 本体の取付

- I: 室外側に ① 本体 (表) を、錠のカム穴にテールピースを差し込みながらセットします。
- ※ クイックレバーを操作し、④K 錠対応 CTS-60 錠 set のラッチボルトが引き込まれるかを確認します。
- II: 室内側に ② 本体 (裏) を、サムターンはタテ向きを維持しながらテールピースに差し込みセットします。
- ※ クイックレバーを操作し、④K 錠対応 CTS-60 錠 set のラッチボルトが引き込まれるかを確認します。
- III: ② 本体 (裏) 側から、⑧ 本体固定ねじ 4 本で固定します。**締め付け時は、必ず手動ドライバーをご使用ください。**

4 作動確認

- I: ① ② 本体のクイックレバーを操作して、④K 錠対応 CTS-60 錠 set のラッチボルトがスムーズに作動することを確認します。
- II: ② 本体のサムターンを押し込みながら回して、④K 錠対応 CTS-60 錠 set のデッドボルトがスムーズに作動することを確認します。
- III: ① 本体のシリンダーに ③ キーを差し込み、④K 錠対応 CTS-60 錠 set のデッドボルトがスムーズに作動することを確認します。

